

「校内でクロームブックを使うときのルール」(4・5・6年生用)

令和5年 赤江小学校

学習内容をよく理解し、より深い学びにしていくためには、クロームブックを上手に活用していくことが大切です。クロームブックはみなさんの学習に役立てるための道具です。便利な道具ですが、使い方に気をつけてほしいこともあります。クロームブックを安全に、安心して活用できるように、使い方のルールを守りましょう。

1 目的

- 学校のクロームブックは、学習活動を行うときに使います。

2 基本的な決まり

- 授業時間や朝自習の時間に使います。それ以外の時間は、担任の先生や担当の先生の許可がある時に使用することができます。
- 休み時間に、学習に関係のないゲームをしたり、YouTube を見たりしてはいけません。
- クロームブックは、決められたもの大切に使います。
- クロームブックを使うときには、使わないものを机の中にしまえます。
- 運ぶときは、両手で持ち、歩いて移動します。
- 画面は(タッチパネル)は、指でさわります。
- クロームブックを持って移動する人がいたり、机の上にクロームブックを置いている人がいたりするので、ろう下や教室では静かに過ごします。
- 保管するときには、必ず充電器につなぎましょう。
- 必ず自分の席に座って、使用しましょう。

3 使うときには

- 先生の話をよく聞き、説明された通りに使います。
- 先生が話をしているときは、クロームブックをさわりません。

4 けんこうのために

- 正しい姿勢で、画面に近づきすぎないようにして使います。
- 使った後は、遠くを見るなどして目を休ませます。
- 使う前、使った後は、必ずせっけんで 30 秒手を洗います。



5 安全・安心のために

- 自分のクロームブックを人に貸したり、使わせたりしません。
- 人のクロームブックをかってにさわりません。
- インターネットで、もしもあやしいサイトに入ってしまった時は、すぐに先生に知らせます。
- 自分や他人の個人情報(名前や住所、電話番号など)は書きこみません。
- ログインするときのIDとパスワードは人に教えません。
- 人をきずつけたり、いやな思いをさせたりすることはぜったいに書きこみません。



6 自分や人の権利を守るために

- カメラで誰かを撮影するときは、勝手にとらず、必ず相手の許可をもらいます。
(肖像権)
- 人が作成したり撮影したりしたものを勝手に使うことはできません。しかし、許可を得た上で、使うためのきまりを守ることにより利用することができます。
インターネットで調べたものや画像を勝手に使うことはできません。使用するときには、引用したり出典を明示したりします。
(著作権の保護)



7 設定の変更

- デスクトップの背景や色、アイコンの並び方や位置などの設定は、勝手に変えません。元に戻せなくなります。
- デスクトップの壁紙は勝手に変えません。学習に使うために学校から貸し出しているものです。

8 不具合や故障

- クロームブックを使っている途中で、インターネットが使えなくなって、再起動をしても元にもどらないときは、すぐに先生に知らせます。
- クロームブックや充電保管庫、アクセスポイントなどを故意に壊した時は、クロームブックが使えなくなるので、気をつけましょう。

ルールをまもって、正しく大切に使いましょう